

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立豊新小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立豊新小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校教育目標

- ◇豊かな心で、語り合うことのできる子どもを育てる
- ◇新たな知を拓き、真実を学び続ける子どもを育てる
 - ・たくましい身体になる子ども
 - ・ゆたかな心をもつ子ども
 - ・よく考える子ども

2 学校運営の中期目標

現状と課題**【生活について】**

本校では、素直で明るく、進んであいさつをする児童が多い。近年では大きな問題行動も見られず、安定した学習環境を保つことができています。児童会活動は活発であり、豊新スポーツ大会や豊新フェスティバル等の各行事を児童が主体的に企画・運営に参加している。児童のアイデアと行動力によって、学校全体が活気にあふれ、愉しく過ごしており自尊感情を育んでいる。このような取組の中で、高学年の児童は低学年に対して思いやりをもって接し、低学年の児童は高学年に対して尊敬と親しみをもって関わっている。学年間の温かな関係が築かれ、学校全体の雰囲気により良くなっている。また、保護者や地域からも学校の教育活動に対して多くの支援と協力を得ており、『地域とともにある学校』づくりを進めている。

【学習について】

日々の学習活動においては、「言語活動の充実」を目指した研究を基盤とし、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るとともに、計算力の向上を目的とした反復学習に取り組んでいる。令和6年度に実施された全国学力・学習状況調査の結果においては、国語科および算数科の得点が全国平均をわずかに下回った。この結果を受け、日々の授業改善を進めるとともに、単元ごとの理解度を的確に把握したうえでの補充指導を行い、朝学習や家庭学習等の連携を進めながら、学力の底上げを図っていく。また、ICTを効果的に活用した学習を取り入れ、児童が課題に対して自主的に解決できる力を育成する授業を実践していく。さらに、教科横断型の教育課程を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践を重ねることで、児童の学力向上を目指す。

外国語活動については、引き続き学習内容の深化充実ならびにモジュール学習の確実な定着を図りながら、意欲を高めていく。

体力向上に関しては、各学年とも跳躍力や持久力、俊敏性の向上を目指した指導を展開していく。令和6年度の全国体力運動能力調査においては、今年度も男女ともに全国平均と同等またはそれ以上の結果を示し、学校教育と地域スポーツの連携が子どもたちの健やかな成長に寄与していることを実感できた。今後も運動量の確保する体育科授業の推進、楽しく運動に取り組むきっかけ作りを行い、積極的に運動をする意欲の向上を図っていく必要がある。

日々の教育活動や行事等を通して、児童の自己肯定感や自尊感情を高めていく。特に、一人ひとりのよさや努力を認める声かけや、役割や責任をもって活動に取り組む経験を通して、自信を育てていく。これにより、他者を思いやる豊かな心を育み、真実を学び続ける姿勢を養っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

中期① 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする児童の割合を83%以上にする。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

中期② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

中期③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

中期① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合40%以上にする。
(施策4 誰一人取り残さない学の力向上)

中期② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
(施策4 誰一人取り残さない学の力向上)

中期② 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

中期③ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

中期④ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。(施策5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

中期① 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。
(基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進)

中期② 令和7年度末にゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。
(基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

中期③ 令和7年度末の校内調査の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和3年度より3ポイント増加させる。
(基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

3 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

○令和6年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。 R6 91.3%

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

R6 0.98

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

R6 20%

学校の年度目標

○令和6年度の校内調査「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上を維持する。 R6 97%

（基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現）

○令和6年度の校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和6年度より2%増加させる。

R6 51%

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。 R6 42.1%

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

R6 国語3年100.3 4年100.2 5年99.8 6年98.7 算数3年98.6 4年99.8 5年98.2 6年97.8

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 R6 80.3%

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 R6 88%

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。

（施策5 健やかな体の育成）

R6 68.5%

学校の年度目標

○令和7年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 R6 93%

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。 R6 96%

（基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進）

○ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。

R6 夏季4日 冬季3日

学校の年度目標

○令和7年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。 R6 83% （基本的な方向8 生涯学習の支援）

○令和7年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を91%以上にする。 R6 97%

（基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和7年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を89%以上にする。

R6 94%

（基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・学校) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。 R6 91.3% ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R6 0.98 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 R6 20% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめアンケートを定期的実施し、当該児童から聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していくとともに、日常的にいじめはどんな理由があってもいけないことだと指導を継続していく。	
指標 学期に1度以上、いじめアンケートを実施。いじめ対策委員会で認知したいじめについて全教職員で共通理解を図り対応する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有しながら支援を継続していく。	
指標 月に1回、生活指導部会及び児童理解研修を実施する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ICTの活用等による、本人、保護者と学校がつながる回数を増やす。	
指標 週に1回以上クロームブックや電話、放課後登校等を行い、本人、保護者とのつながる機会を年間を通して設ける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ・令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上維持する。 R6 97% ・令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和 6 年度より 2 %増加させる。 R6 51%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールについて全教職員で日常的に指導する。 ----- 指標 「豊新学びのきまり」に基づき指導に当たる。毎週児童朝会を実施し、月目標や週目標を伝え、指導・支援をする。安全教育の充実を図るために、研修や実践を学期に 1 回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 体験活動等で得た達成感や充実感をキャリアパスポート等を活用し振り返り、自己有用感の育成を図る。 ----- 指標 学期に 2 回、キャリアパスポート等で目標の設定と振り返りを実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。 <u>R6 42.1%</u> ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 <u>R6 国語3年100.3 4年100.2 5年99.8 6年98.7</u> <u>算数3年98.6 4年99.8 5年98.2 6年97.8</u> ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 <u>R6 80.3%</u> ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 <u>R6 88%</u> 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れ、多くの場面で考えを深め合ったり、伝え合ったりできるように工夫し、学習したことを振り返る活動を取り入れる。</p> <p>指標 対話の目標をもとに1日1回、学習の中で話し合う活動を実施する。また、学習の中で振り返る活動を取り入れる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、家庭学習支援などを行う。</p> <p>指標 単元ごとに習熟を図るため調査を実施し、個々の進捗状況を把握する。学習ドリルなどを、やり直しを含め丁寧に実施し、週に1度必ず点検する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>I C T機器を活用しながら、学習の見通しをもって観察・実験を行い、児童自身でまとめる活動を取り入れる。</p> <p>指標 単元ごとに、I C T機器を使用し、観察や実験結果を記録したものから学習のまとめを実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p> <p>指標 外国語活動・英語教育の教員研修会を年3回実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 50%以上にする。 R6 68.5%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 運動の日常化のために、児童が意欲的に体を動かそうとする活動や運動強調週間を実施する。	
指標 学校生活アンケート「外で体を動かすことが好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を 50%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 保健学習や保健週間の設定において、健康で安全な生活態度や習慣を向上させる取り組みを行う。	
指標 年 1 回以上の性に関する教育を実施する。9 月と 1 月に「手洗い強調週間」を行う。	
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 栄養指導や給食指導、各教科において、食べ物への興味関心をもち、食べることの楽しさやよりよい食生活を大切にする気持ちを養う取り組みを行う。	
指標 食に関する指導(2 回)や豊新の森・学習園などを活用した体験的な活動(1 回)を年に合計 3 回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ・令和 7 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。 R6 93%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。 ----- 指標 教員が一人 1 回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修を 8 回以上行う。	
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 主体的、対話的な活動を取り入れ、児童が自分の考えを持ち、交流を通じて考えを広げる場を設定する。 ----- 指標 話型をもとに言語活動の充実を図り、1 日 1 回以上、話し合う活動を取り入れる。	
取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 年 4 回学力向上 week を実施し、児童の学力向上につなげる。 ----- 指標 学期に 1 回の学力向上 week（1 学期に「計算領域」、2 学期に「計算領域」、3 学期に「漢字」「計算領域」）を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) 【ICTの活用に関する目標を設定する】 ・令和 7 年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。 R6 96% 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】 ・ゆとりの日を週 1 回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業期間においては 1 日以上設定する。 R6 夏季4日 冬季3日	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向番号 5 DX (デジタルトランスフォーメーションの推進)】 ICT (心の天気、デジタルドリルなど) を活用した教育を推進する。 ----- 指標 授業の中で学習者用端末を 1 日 1 度以上使用する。ICT を活用した教員の指導力向上のための研修会を実施する。	
取組内容②【基本的な方向番号 6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する。 ----- 指標 ゆとりの日について、週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外においては 1 日以上設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。 <u>R6 83%</u> 令和7年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を91%以上にする。 <u>R6 97%</u> 令和7年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を89%以上にする。 <u>R6 94%</u> 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号8 生涯学習の支援】</p> <p>学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。</p>	
<p>指標 週に1回、図書館を利用する。また、年に2度読書週間を実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号8 生涯学習の支援】</p> <p>芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。</p>	
<p>指標 芸術鑑賞行事、3～6年生で社会見学を確実に1回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>教育方針や教育活動の様子を、「学年だより」等を通してわかりやすく伝える。</p>	
<p>指標 月に1回、学年だより等を地域・保護者に配付する。週1回以上、学年の活動をホームページに掲載する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	